

授業科目 基礎看護学方法論Ⅵ (フィジカルアセスメント 技術)	専任教員名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前/後 2年次/ 前期
講義のねらい	1 フィジカルアセスメントの意義を理解する。 2 フィジカルアセスメントの基礎的な知識を理解する。 3 フィジカルアセスメントの基礎的な技術が実施できる。 4 フィジカルアセスメントを活用して必要な看護援助を考えられる。			
授業形態	講義・演習			
講義内容	1 フィジカルアセスメントの意義 1) フィジカルアセスメントの意義 2) ヘルスアセスメントの関係性 2 フィジカルアセスメントに必要な技術 1) 健康歴とセルフケア能力のアセスメント(問診の技術) 2) 視診・聴診・触診・打診の技術 3) 身体計測 3 系統的アセスメントの実際 1) 呼吸器系のアセスメント 2) 循環器系のアセスメント 3) 消化器系のアセスメント 4) 筋・骨格系のアセスメント 5) 神経系のアセスメント 6) 感覚器系のアセスメント 7) 乳房・腋窩のアセスメント <デモンストレーション・演習> ・呼吸器系、消化器系、循環器系、感覚器系、神経系のフィジカルアセスメント			
教科書	系統看護学講座 専門 基礎看護学技術Ⅰ 基礎看護学② (医学書院)			
参考文献	1 フィジカルアセスメントガイドブック 第2版 (医学書院) 1 看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント (メディックメディア) 3 必要に応じて資料を配付する。 4 看護教育シリーズフィジカルアセスメントの所見 VOL.1 フィジカルアセスメントの実際 VOL.2 皮膚・頭頸部・眼・耳 VOL.3 呼吸・心血管・乳房 VOL.4 腹部・筋骨格・神経 VOL.5 フィジカルアセスメントの所見			
評価方法	終講試験 70点、課題レポート・演習態度 30点 合計 100点			
備考欄	・事前に演習を行う内容については、DVD等で確認しておく。 ・演習時の必要な準備については、演習前に示す。 ・演習項目については、授業終了後も練習をし、技術修得しておく。 (実習場における学生・患者相互の不安軽減に向けて努力しておく。) ・教員とのコンタクトについては授業終了後又は終講時に案内する。			